

モニタリング作成時の具体的なイメージ

モニタリング結果全般

- ・サービス等利用計画通りにサービスが提供されているか？
- ・総合的な援助の方針で想定した利用者の生活が実現しているか？
- ・解決すべき課題(本人ニーズ)が解決し、短期目標、長期目標で揚げた状態に近づいているか？
- ・サービスの内容について利用者は満足しているか、不満や改善してほしいことはないか？
- ・期間中に新たな課題が生まれていないか？

本人の感想・満足度

- ・できるだけ利用者の言葉や表現で示し、保護者や家族の感想が優先されないようにする。「満足していますか？」等直接に聞くのではなく、本人が語る中で、相談支援専門員が満足度を判断する。

モニタリング作成時の具体的なイメージ

支援目標の達成度、今後の課題・解決方法

- ・利用者、サービス提供事業所からの聞き取りや相談支援専門員としての見立てを踏まえ、サービス担当者会議で支援目標の達成度について関係者全員で評価した結果を記載する。
- ・未達成の支援目標については、サービス担当者会議において今後達成するための具体的な方策を検討する。

計画変更の必要性、その他留意事項

- ・計画の変更の必要性がある場合、サービスの種類・サービス量・週間計画の何を変更するか確認し、留意事項に具体的な変更内容を記載。
- ・新たな課題が生まれた場合、サービスの種類、量の変更を検討する。留意事項に新たな課題に対応した支援目標の追加理由、変更概要について記載。
- ・支援目標が達成されていない場合、現在利用しているサービスの事業者の変更等も検討する。

モニタリング作成時の具体的なイメージ

- ・支援目標が達成された場合、次のステップアップや継続支援、タイミングを見ながら本人の強みを生かした自立に向けての支援に切り替えていく。

サービス提供によって実現する生活の全体像

- ・利用者はどのような生活を目指すのか、中立、公正な観点で、相談支援専門員の専門職としての総合的判断を記載する。
- ・計画作成の必要性、サービス提供の根拠が客観的にわかるよう、明快かつ簡潔に記載。(支援の必要性は障害に起因するのか、介護者の状態に起因するのか、地域の社会資源や環境に要因するのか等)
- ・利用者・家族・関係機関等からの情報にはないが相談支援専門員として気になる点、注目すべき点、必要と考える事項等について記載する